

その他の活動

井戸知事への申し入れ



在宅介護充実の必要性があるにも関わらず、県内の定期巡回サービスを提供する事業所が計画数に追いついていない状況(H28年度計画49事業所に対し実績35事業所)の改善に向け、人材確保や事業所拡大の取組み強化と、訪問看護師等が安心して夜間等に訪問サービスが提供できる環境整備体制を整えることと、兵庫県独自に行っている第2子からの保育料権限補助について更なる拡充を求める申し入れを行い、いずれも来年度予算の施策に反映されることになりました。

国への要望活動(農水省矢倉政務官)



農業の担い手不足を解消し新規就農を促すために、施設貸与と制度を創設し初期投資を抑え新たに就農したり生産拡大を促進することなどを会派として要望。平成29年度の国予算編成に向け、これ以外にも国交省や防災担当大臣、厚労省、文科省等に要望活動を行いました。

会派での勉強会



関西学院大学大学院経営戦略研究科の佐竹隆幸教授に会派の勉強会で「社会経済情勢の見通しと兵庫県政」というテーマでご講演いただきました。少子高齢化が進む中で、AIが発達し産業政策としてどう対応していくべきかについて議論しました。

神奈川県立がんセンターの視察



がん治療による外見上の変化(脱毛や肌のくすみ等)のサポートを行うアピランス外来や、世界で初めてがんセンター併設型の重粒子線治療施設がある神奈川県立がんセンターを視察。兵庫県のがんセンターの建替え整備も予定されており、こうした神奈川県取組を参考にしたいと思っております。

鉄人28号モニュメントのリペイント完成



今や神戸のランドマークである鉄人28号モニュメント。2009年の完成から風雨にさらされ塗装の劣化が進んだため、地元企業のご協力や、寄付、協賛Tシャツの販売などでリペイントが実現しました。神戸市の公園内にありながら地元NPOが管理する形態について、今後は行政の支援強化も含めた手法の検討が必要です。

こしだ 浩矢 県政レポート Vol.11

〒653-0842 神戸市長田区水笠通3-1-1-1003 TEL & FAX. 078-754-6618 【メールアドレス】koshida168@gmail.com



警察常任委員長としての活動

年頭視閲式



年始恒例の年頭視閲式に県警本部長や知事らと参列しました。新しい年のスタートにあたり、凛とした警察官の姿に頼もしさを感じました。昨年は様々な不祥事もあっただけに、県民の安全安心のための活躍を期待したいと思います。

防災訓練



南海トラフ巨大地震を想定した救助中心の訓練を視察。全国の警察の中で先駆けて兵庫県警が導入したドローンを活用し、情報収集をしながら救助に活かす実践形式の訓練でした。

実践的訓練(長田警察署)



長田警察署で若手警察官の職務質問から不審者確保に至るまでの訓練を視察。犯人役(ベテラン警察官)も本物のような迫力で、現場で役立つ実践的な訓練を行い日々精進いただいていることが確認できました。

機動隊・警察犬訓練所・航空警察隊の視察

機動隊や警察犬、警察ヘリはなかなか普段見かけることはありませんが、実際の厳しい訓練を視察し、日々の厳しい鍛錬あってこそ活躍できるということを実感しました。



県民との意見交換

県議会活動活性化の取組みの一環として、委員会活動の調査の中で県民との意見交換を行っています。

- 地域防犯活動のボランティア学生グループとの意見交換
- 淡路市の暴力団追放運動推進メンバーとの意見交換



神戸学院大学のセーフティタウン・コミュニティの学生メンバーと意見交換。大学の地元自治会等と連携して、交通安全や防犯活動に取り組む中で感じたことなどについてお話を伺いました。警察官を目指している学生も多くいて、こうした活動を通して警察官を目指すきっかけになることは非常にいいことだと感じました。



2つに分裂した山口組の抗争が危惧される中、神戸山口組の本部がある淡路市の暴力団追放の住民運動についてメンバーと意見交換しました。リーダーを選出することにも難航した点や、身の安全の確保、地域が一体となって運動に取り組むことの難しさなどについてお話を伺いました。暴走運動は、警察だけでなく行政の一步踏み込んだ支援の必要性を感じました。

第335回 定例県議会・一般質問

2月の定例県議会にて一般質問を以下の通り4項目5問行わせていただきました。

質問項目

- (1) 障害者差別解消について
 - ① 障害者差別解消法の施行後の取組成果と課題について
 - ② 身体障害者補助犬について
- (2) ICTと医療ビッグデータを最大限に活用したデータヘルスについて
- (3) 新長田の県市合同庁舎整備を契機としたまちのにぎわい創出について
- (4) 兵庫の日本酒と食の振興と観光の相乗効果を発揮するイベント開催について



質問ピックアップ

障害者差別解消に関する質問

① 障害者差別解消法が昨年4月から施行されました。県の取組みや課題を問うとともに、障がい者側からの視点で差別解消が進んだかどうかアンケートを実施して検証することや、障がい者の権利を守る条例制定によって県としての姿勢を明確にすべきといった指摘をしました。

井戸知事は、アンケートについては平成32年の障害者基本計画の改定時に実施すると答弁。条例については要綱を定め取り組んでいるとして前向きではありませんでしたが、障がい者の方々が条例を求めていると再質問で指摘し、今後の取組みの進捗を見ながら課題が明確になった段階で条例制定について検討するとの回答がありました。

② 身体障害者補助犬については、地元の聴導犬パートナーの方が一緒に受診可能な病院がなく困っている事例を元に、県として改善の取組みを問いました。

太田健康福祉部長は、医師会や病院協会等と連携し、病院で

の補助犬受入れの現状把握を行い、医療機関向けのリーフレットやマニュアルの配付、医師会会報等に受入れ方法を掲載する等してすべての医療機関で補助犬同伴でき障がい者が安心して受診できるよう周知徹底を強化するとし、特に聴導犬が所在する市町では医師会等への働きかけを行うとの答弁がありました。



障がい者の差別解消の問題は、部落問題やヘイトスピーチ、LGBT等の様々な差別や偏見、人権侵害の解消と共通する課題もあり、人間の尊厳を守る取組みにつながると思います。今後も引き続き状況を確認しながら、差別が実質的に解消されることを目指してまいります。

質問ピックアップ

新長田の県市合同庁舎整備を契機としたにぎわい創出についての質問

合同庁舎整備を契機に、新長田南地区のにぎわい創出につながる施策をどう展開するのかまた利用者増が見込まれるJR新長田駅への快速停車と駅改良による東口の復活実現の大きなチャンスを神戸市と共同してJR西日本へ強く働きかける必要性を訴えました。

井戸知事は、県としてこれまで神戸市の再開発事業や地元住民等の復興の取組みに対する支援策を実施してきたが、今後は県・市共同で地元商業組織による空き区画の活用事業の支援や、合同庁舎に移転する10万人が現在活用している生活創造センターの機能の充実を図り地域の魅力アップに繋げていくとし、新長田駅への快速停車については、快速の速達性低下の

課題を挙げながら駅利用者の状況を見定め必要性の確認を行うと答弁しました。

新長田駅への快速停車、東口復活については、今回の合同庁舎による利用者増となる機会を活かし、実現に向けて神戸市とも連携を密にしながら取組みを強化する必要があります。



地域サポート

長田天神町の側溝を塞ぎ安全性が向上しました!



道幅が狭く双方向通行できる道路の側溝は、県営住宅など地元住民の方が介護の送迎車やタクシーの乗降を行う上で非常に危険な状況だったものが改善しました。

長田消防署の新大橋出張所前(大橋町3丁目)車止めブロックにポールを設置



交差点の角にある車止めのブロックに、自転車が気づかずにぶつかり転倒する事故が多発しているとの相談を受け、国道管理事務所に改善を申し入れ、ポールを設置することで存在を明示して段差があることを注意喚起できるようになりました。

南駒栄町1丁目(駒ヶ林会館横)の道路の駐車禁止規制



駐車場代わりに利用されていたこの道路には、一部使用できないような車両が放置されるなどして通行の妨げとなっていました。地元の自治会長さんの協力を頂きながら県警や神戸市当局に申し入れ、駐車禁止の規制対象路線に変更し、放置車両の撤去により安全な道路になりました。

丸山ひばり小学校の通学路の安全性向上に向けた改善



通学路上の三叉路交差点の信号で、車両用信号のみで歩行者用信号がなく、子どもたちにとってどの信号を見て渡ればよいかわかりにくかった状況を改善するため、歩行者用信号の必要性を県警に申し入れ設置されました。



通学路上にある空き地の石垣が崩落しそうな危険個所の解消について相談を受けました。校長先生と相談し危険を回避するため通学路の変更と、それに伴う横断歩道の設置を、県警、神戸市と調整し実現しました。

御蔵小学校横の南北道路が暗いとお声に対応



御蔵小学校の東西にある南北道路は夜になると街灯が少なく暗いとの指摘を受け、神戸市に申し入れを行い、街灯の追加設置と既存街灯の変更等により東西両方の道路の明るさが大きく改善されました。

房王寺町5丁目バス停にベンチの設置

バス停にベンチがなく困っているとお声を伺い、神戸市に申し入れを行いベンチが設置されました。

